

1983. 10. 14

九州大学 大型計算機センターニュース

No. 282

福岡市東区箱崎 6 丁目 10 番 1 号
九州大学大型計算機センター
広報教育室(TEL092-641-1101)
内線 2505

目 次

- 1. TSSセッションのキャンセル方法について 1
- 2. システムレベルアップと業務停止(10月31日)
について 2
- 3. XDT講習会の開催 2

1. TSSセッションのキャンセル方法について

TSSセッションの開設中、何らかの原因で利用者の作業が進まなくなることがあります。従来、センターにセッションのキャンセル依頼をするしか方法がありませんでしたが、10月3日より、利用者自身でキャンセルできる手段を用意しています。

使用法は次のとおりです。

```

LOGON TSS F0060          ----- ①
KDS70001I F0060      LAST ACCESS AT 09:05:54 ON 83.271
KEQ56455I F0060 LOGON IN PROGRESS AT 13:42:19 ON SEPTEMBER 28, 1983
JOB NO = TSU2890 CN(01)
KEQ56951I NO BROADCAST MESSAGES
KEQ56700A ENTER USER NAME - ----- ②
F9999                ----- ③
PASSWORD ?
██████████████████ ----- ④
KILL ACCEPT          ----- ⑤
RETURN CODE : 0000
KEQ56470I F0060 LOGGED OFF AT 13:43:32 ON SEPTEMBER 28, 1983+
KEQ54100I SESSION ENDED

```

説明：下線部が入力した部分です。

- ①…必ず課題名はF0060でログオンします。パスワードは不要です。
- ②…課題名を入力せよという督促メッセージです。
- ③…キャンセルするセッションの課題名を入力します。
- ④…指定した課題名のパスワードを英大文字で入力します。
- ⑤…キャンセルを受け付けた時のメッセージです。

(業務掛 電(内)2517)

2. システムレベルアップと業務停止（10月31日）について

11月1日（火）より、システムレベルアップを行います。このため以下のシステム変更作業のため、10月31日（月）は計算サービスを停止させていただきますのでご了承ください。その主な内容についてお知らせします。

(i) 日本語・図形出力時の課金方法の変更について

システムライタが現在のエクスターナルライタからJESライタに変更になります。これによって、利用上の違いはありませんが、システム内部の情報で文字パターン数がライン数に含まれるため、NLP出力時の課金の計算法が次のように変更されます。

① ライン数－ページ数×62 > 0の時

（ライン数－ページ数×62）をパターン数とみなし、100パターンにつき1円の課金を行います。なお、ページについては別に1ページにつき5円の課金を行います。

② ライン数－ページ数×62 ≤ 0の時

従来どおり、1ページにつき5円の課金を行います。

(ii) TSSのSYSOUT出力の連絡所送りについて

従来、TSSのSYSOUT出力の連絡所送りは、MAILコマンドによって行われていましたが、今回からはLOGON時のDEST(REMOTE)パラメタで行うように変更されます。以下に、使用例を示します。

例) MAIL処理を行う場合

```
LOGON TSS F9999/パスワード DEST(REMOTE)
```

(iii) カタログの効率化について

現在、データセットのカタログ情報はすべてマスタカタログに登録されており、そのエントリ数は4万件を超えています。このため、システムのカatalog検索効率が低下しています。そこで、現在登録されているカタログ情報をシステム用、ユーザ用に分割し、データセットアロケート時のシステム効率を改善します。

（業務掛 電(内)2517）

3. XDT講習会の開催

標記講習会を下記のとおり開催します。受講希望者は、共同利用掛（電(内)2505）にお申込みください。なお、講習会準備の都合上、募集定数に達し次第、申込みを締切らせていただきます。

記

- ・開催日 11月9日（水）
- ・募集定員 20名
- ・会場 九州大学大型計算機センター多目的講習室（3階）
- ・内容 XDT (CRYStallographic DaTa system) は、英国ケンブリッジ結晶データセンターが世界的規模で集積・配布を行っている有機化合物、有機金属化合物及び金属間化合物の結晶構造データを推論関係型データベース管理システム Adbis によって構築したデータベースシステムです。

昨年11月に公開して以来，二度にわたってレベルアップを行い，一応所期の水準に達しましたので使用法の講習会を開催することにしました。

- ・テキスト センターで用意

	10:00	12:00	13:30	15:00
9日(水)	XDTの使用法	昼 休 み	実 演 と 討 論	

- ・申込み期限 11月5日(土)

参考文献

1. 河野ほか 結晶構造データベースシステムXDTの使用法(暫定版第1報)，九大大型計算機センター広報，16，1，1983，32-53.
2. 河野ほか 同(暫定版第2報)，同上，16，4，1983，362-378.
3. 河野ほか 結晶構造データベースシステムXDTの使用法，同上，16，6 (印刷中)。